


■展示物の例

①東日本大震災、南海トラフ巨大地震、高速道路等の役割を紹介するパネル

■東日本大震災の被害の状況

「命の道」 道路が避難路・迂回路として機能

高台にある釜石山田道路が避難路となり、鶴住居小学校・釜石東中学校(岩手県)の児童・生徒約570人は、その日のうちに避難。さらに、この釜石山田道路は迂回路として人や物資の移動に利用され、地域の孤立を回避しました。



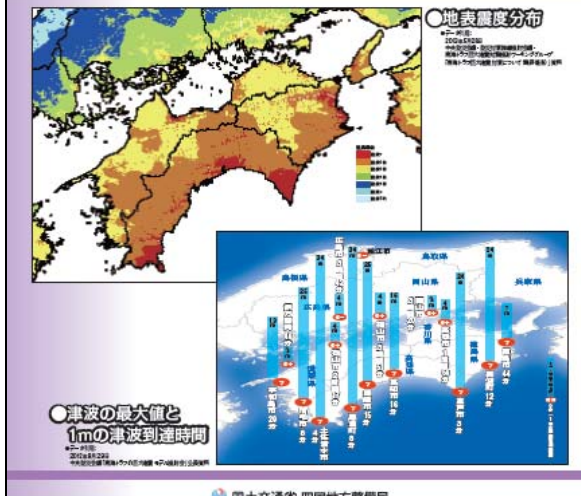
岩手県釜石市～山田町
三陸縦貫自動車道
釜石山田道路

国土交通省 四国地方整備局

■南海トラフ巨大地震

巨大な地震・津波

巨大な地震・津波が発生。四国の95市町村のうち58市町村で震度7以上の揺れが予測されています。また太平洋沿岸部の市町村では、最大津波高が30mを超える津波の襲来が予測されています。



●地震震度分布
●津波の最大値と1mの津波到達時間

国土交通省 四国地方整備局

高速道路区域への津波避難場所設置に向けた取り組み 【徳島県】

沿岸部の市町には、「津波避難困難地域」が多数存在

本県では、東日本大震災以前より、高速道路のり面が津波避難場所として有効であると着目し、機会ある毎に政策提言を実施

H23.5 【政策提言】
「津波避難場所を占用許可施設」として道路法施行令に明記すること

H23.8 提言を具現化する独自の取り組み

H25.4 道路法施行令の改正が実現

H26.2 この取り組みをさらに加速

効果

- 住民の安全・安心
- 津波避難困難地域の解消
- 津波避難場所設置に伴う費用負担軽減

約4,100人の津波避難場所を確保

「助かる命を助ける」という理念

◆道路が持つ付加価値
◆道路はつながってこそ効果を発揮

地域防災力の向上!
本線の整備促進を!!



徳島県津波浸水想定(H24.10.31)

徳島自動車道(鳴門JCT～徳島IC)
平成27年3月4日開通

浸水深(m)
10.0～
5.0～10.0
4.0～5.0
3.0～4.0
2.0～3.0
1.0～2.0
0.3～1.0
0.01～0.3

富吉地区 600人収容
米津地区 800人収容
中村地区 350人収容
太郎八須地区 900人収容
松茂PA背後地 630人
長岸地区 210人収容
大幸地区 450人収容
段岡地区 200人収容

徳島市 松茂PA 松茂SIC 北島町 松茂町 徳島市 徳島IC 徳島JCT(徳島東IC) 吉野川

高松自動車道 鳴門JCT 鳴門IC 神戸淡路鳴門自動車道

徳島県津波浸水想定(H24.10.31)